

平成22年度事務事業評価シート(平成21年度分)

予算科目	会計	市立大曲病院事業会計	101	款		項		目	
事務事業名	市立大曲病院事業								
担当部署	市立大曲病院管理課	801000	電話	0187-63-9100			内線		

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	01:安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策の大綱	01:保健・医療の充実
	施策	03:地域医療体制の充実
	施策の内容	01:地域医療体制の整備
根拠法令等		

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	精神科病院としての特質を生かしながら、地域に密着した医療サービスを提供する。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	治療を必要とする患者
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	精神科・神経科・内科医療の提供 ①入院外(外来)診療 ②入院治療(精神病棟70床、認知症病棟50床)
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	治療を必要とする患者が心身ともに健康になること。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 入院外(外来)診療日数	日	245	243	242
	②				
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① 入院外(外来)診療	人	13,667	13,090	13,473
	② 入院治療	人	41,673	41,502	40,867
	③ 病床利用率	%	95	95	93
投入コスト	決算額		391,595千円	407,509千円	405,755千円
		一般財源	231,784千円	204,050千円	205,295千円
	人件費		434,640千円	441,776千円	441,747千円
		一般職員の年間従事人数	60.0人	61.0人	61.0人
		一般職員以外の年間従事人数	3.6人	3.6人	6.6人
	総コスト	(決算額+人件費)	826,235千円	849,285千円	847,502千円

事業を取り巻く環境	<p>大仙市にある精神科病院(県立病院と当院の2つがある)として一役を担っており、医療の圏域としては大仙市はもちろん、仙北市、美郷町、横手市の一部も含まれている。</p> <p>現在は、過度なストレスが原因によるうつ病などの患者の増加、さらに高齢化社会における認知症患者も増え、本人の治療はもちろん家族に対するサポートなどが求められている。</p>
-----------	--

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 事業の目的を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	過度なストレスが原因によるうつ病などの患者、さらに高齢化社会における認知症患者の増加により、大仙市及び周辺地域の精神科病院として必要とされている。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	年々外来患者が増加しており、さらに病床利用率も90%を超えており、精神科病院として欠くことのできない病院となっている。 そして、認知症患者の早期発見・早期治療を目指すため、平成22年度よりものわすれ電話相談の窓口を開設し、医療体制の充実を図っている。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	業務の中で給食や清掃などできる限り民間委託している。ただし、当院の診療体制、そして診療報酬に関わる施設基準で人員配置等の必須条件があるため、単純な人員削減はできないと思われる。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)	
改善	A 現状のまま継続	平成20年度は入院外診療の予約制を導入し、患者さんの待ち時間の軽減等を図ってきた。さらに在宅医療にも目を向け、平成21年6月より、入院外(外来)の患者さんへ精神科訪問看護・指導を実施している。 平成22年度からは、ものわすれ電話相談窓口を開設し、認知症患者の早期発見・早期介入・早期治療を目指していく。
	B 改善しながら継続	
	C 拡大	
	D 縮小	
	E 廃止	